



# 新庁舎の実施設計が完了しました

新庁舎全景イメージ

4月より役場と委託業者の株式会社アトリエブク(札幌市)、協力機関の北海道立総合研究機構とで作業を進めてまいりました津別町役場新庁舎の「実施設計」の策定が9月末をもって完了しました。「実施設計」の完成により、新庁舎の概要をより具体的に皆様にお伝えすることができるようになりましたので、今回ご紹介いたします。

## 建物の概要

|    |   |
|----|---|
| 構造 | RC造+木造2階建                                 |
| 面積 | 1階 1725・84㎡<br>2階 1534・86㎡<br>延床 3260・70㎡ |

## 主な機能

- 【1階】  
健康福祉センター(①保健福祉課／②津別町社会福祉協議会／③コミュニティホール／④中ホール／⑤栄養指導兼調理室／⑥ボランティア室／⑦障がい者等活動スペース／⑧相談室4室／⑨打合せコーナー2区画)／⑩会計課／⑪住民企画課／⑫待合スペース／⑬なみきロビー／⑭打合せコーナー4区画／⑮小会議室／⑯中会議室(兼選挙管理委員会事務室)
- 【2階】  
⑰総務課／⑱建設課／⑲産業振興課／⑳町長室／㉑副町長室／㉒応接室／㉓議会議事堂／㉔議会事務局／㉕正副議長室／㉖議員控室／㉗監査委員室／㉘小会議室／㉙中会議室(兼災害対策本部室)／㉚大会議室／㉛なみきラウンジ／㉜打合せコーナー6区画

## 建物の主な特徴

防災機能に優れ愛林のまちつべつを象徴する庁舎  
外壁コンクリートの外側に外断熱構造を含む木製の外壁を配するほか、外側のRC構造が事務フロアを構成する木造の中央部分を補強する構造など、災害に強い強度を保ちながら、木をふんだんに採用した木のまちつべつにふさわしい庁舎を考えました。非常用電源設備は、庁舎を72時間稼働できる設計としています。

## 利用者の視点に立った快適性

バリアフリーはもちろんのこと、エレベーターの設置や窓口のローカーンター化、点字ブロックの敷設、ユニバーサルカラーを考慮したカラーサインの採用など、これまで現庁舎でご不便をおかけしておりました懸案について、できる限りの対策を施しました。

プライバシーに関わる相談事にも対応できる個室の相談室やちょっとした休憩にご利用いただける待合スペース

## 今後の予定

- ・令和元年10月29日工事入札
- ・令和3年3月15日完成

本記事についての問い合わせ先

総務課  
☎76-2151(内線211・238)

## 役場新庁舎平面図



1階



2階

ペースやラウンジ、オストメイトに対応した多目的トイレも備えています。  
機能性に優れ持続可能な庁舎  
事務フロアのデスク配置はユニバーサルレイアウトとして統一する

ことで機構改革などにも最小限で対応できるようにしました。  
また、来客に対応するための打合せコーナーや相談室を設置し、従来境界が曖昧であった事務フロアと来客スペースを分離して個人情報の保護やセキュリティをより強化しました。

## 複合化のメリットを活かす

保健福祉課と津別町社会福祉協議会、関連機能を健康福祉センターとして1階に集約するほか、会議室としても利用可能な議会議事堂など会議室の共用集約化を行いました。

道道屈斜路津別線

町道28号線